

27 教芸 (令和 8 教 内容解説資料)

→ P.5



宮下奈都作詞、三宅悠太作曲《いつか、海へ》
→ P.12
アベタカヒロ編曲 ヴォイス・アンサンブル《残酷な

→
P.12

→
P.6
他

スモール・ステップを意識した構成・紙面

→
P4

→ P.10

→ P.9

MOUSA は、 ムーサ

「卒業後も手元に残しておきたい教科書」であることを

刊行以来のコンセプトにしています。

令和8年度から使用される新しいMOUSA1では、
音楽の魅力を余すところなく伝えつつ、より身近な存在となるよう、
主体的、多面的な学びを意識して編さんしました。



目次

MOUSAの特徴	3	歌唱	12	MOUSA1掲載曲	17
改訂のポイント1	4	器楽	13	指導書について	18
改訂のポイント2	6	創作	14	検討の観点別に見た特色	19
改訂のポイント3	8	鑑賞	15		
二次元コードコンテンツ	10	資料	16		

授業スタイルに合わせて選曲できる!

● **さまざまなジャンルから教材性の高い曲を厳選**

「ジャンル別MAP」を示すことで、生徒が幅広く音楽と関わることができるよう、また、多様な状況に対応できるよう配慮しています。

ジャンル別MAP

歌唱・器楽編

歌曲

Ave Maria ▶ P.11
 O sole mio ▶ P.18
 Caro mio ben ▶ P.30
 この道 ▶ P.35
 むこうむこう ▶ P.38
 小さな空 ▶ P.40
 Heidenroslein ▶ P.58
 Sah ein Knab ein Röslein stehn ▶ P.59
 秋歌の歌 ▶ P.60
 Wagniedel ▶ P.61
 ハバーク ▶ P.76
 闘牛士の歌 ▶ P.77

ソルフェージュ

分割されたリズムを打つ練習 ▶ P.14
 リズムを正確に打つ練習 ▶ P.18
 ソルフェージュ ▶ P.32

ギター ▶ P.46

日曜日の使者 ▶ P.48
 第三の男のテーマ ▶ P.50

謡

【真砂】 ▶ P.86
 【羽衣】 ▶ P.87

世界の諸民族の音楽

京楽謡アラン ▶ P.105
 美しいエンメンタール ▶ P.105

合唱曲

實をください ▶ P.14
 花 ▶ P.34
 夏の思い出 ▶ P.42
 いちのちの歌 ▶ P.66
 Do-Re-Mi ▶ P.70
 朗月夜 ▶ P.99
 紅葉 ▶ P.100
 故郷 ▶ P.101
 荒野の果に ▶ P.120
 春の心 ▶ P.121
 Twist And Shout ▶ P.113
 真実の心 ▶ P.118
 クリスマス・イブ ▶ P.119

和楽器

篠笛 ▶ P.88
 三味線 ▶ P.90
 三味線歌 ▶ P.92
 春よ来い ▶ P.92
 （かわきき） ▶ P.93
 琴 ▶ P.94
 （さくら）奏楽曲 ▶ P.94
 （一般） ▶ P.95

資料編

口絵

Invitation to Music! ▶ P.2
 Home! 夢は希望を越えて ▶ P.4
 龍舞台 ▶ P.6

総案

ボディーパーカッションを楽しもう! ▶ P.18
 Let's Play the GUITAR 1 ▶ P.49
 Let's Play the GUITAR 2 ▶ P.51
 チームでアサツパを楽しもう! ▶ P.54
 リコーダーの演奏 ▶ P.62
 TAB(タブ)の読み方 ▶ P.65
 尺八について ▶ P.85
 バンド・アンサンブルに挑戦 ▶ P.112
 ギター・キーボード・コード書 ▶ P.156

楽典

日本音楽の流れ ▶ P.96
 純正の尺八調と音階 ▶ P.102
 The Jazz 7 ▶ P.108
 Rock History ▶ P.110
 歌謡曲からJ-POPへの100年 ▶ P.116
 西洋音楽の流れ ▶ P.144
 作曲家の年表と主な作品 ▶ P.158

アンサンブル

Plymouth Rock ▶ P.19
 Clap, Tap with CUPS! ▶ P.20
 ミッション・イン・ボックスのテーマ ▶ P.52
 The First Noel ▶ P.55
 Castle On A Cloud ▶ P.65
 お贈り ▶ P.69
 Twist And Shout ▶ P.113

リコーダー ▶ P.62

天国と地獄 ▶ P.64
 Ca-f-f-e-e ▶ P.64
 The First Noel ▶ P.64
 グリーン・スリフ・フ ▶ P.64
 Castle On A Cloud ▶ P.65
 いのちの歌 ▶ P.66

その他

小鼓や太鼓で描き写される音楽 ▶ P.17
 音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人 ▶ P.27
 カンパ・オーネ ▶ P.28
 音楽用語とタイリアブ ▶ P.29
 指板にチャッキング(EXERCISE 1, 2) ▶ P.31
 指板をチャッキング(EXERCISE 3) ▶ P.42
 ドイツ語に由来する音楽 ▶ P.56

歌謡

響く歌声を目標しよう! ▶ P.10
 ボディーパーカッション ▶ P.26
 イタリヤの歌を聴こう ▶ P.26
 (この道)編曲家! ▶ P.39
 日本語と旋律 ▶ P.39

歴史

日本音楽の流れ ▶ P.96
 純正の尺八調と音階 ▶ P.102
 The Jazz 7 ▶ P.108
 Rock History ▶ P.110
 歌謡曲からJ-POPへの100年 ▶ P.116
 西洋音楽の流れ ▶ P.144
 作曲家の年表と主な作品 ▶ P.158

歌謡

詩の心を大切に歌おう ▶ P.39
 日本語の歌謡の歌う ▶ P.39
 イタリヤの歌を聴こう ▶ P.26
 フランス語の歌を歌おう ▶ P.79
 謡に親しもう ▶ P.86

リット

リット ▶ P.61
 舞台芸術 ▶ P.68
 ハバークのリズム ▶ P.77
 作者について ▶ P.100
 音楽を聴き写すとき必要な要素 ▶ P.132
 オークストを聴き写す ▶ P.148

(教科書 P.8・9 ジャンル別 MAP)

特徴 2

どの教材も
扱いやすい!

●生徒に日々接している先生方の
実践的なアイデアを具現化

MOUSA1に掲載している歌唱や器楽の全ての教材については、著者と編集部が試演を重ね、音域や演奏のしやすさなどを検討しました。また、創作では、生徒が取り組みやすい手順を示しています。

特徴 3

丁寧な 学習プロセスの 提示！

●生徒が達成感を得られる内容

これまでの個々の音楽経験に関係なく、全ての生徒が「楽譜を読めるようになった」「楽器を演奏できるようになった」と実感できるよう、段階を踏んで取り組める内容になっています。

[illegible]

(教科書 P.90・91)

新しい MOUSA^① 改訂のポイントは――

ムーサ

1 分かる・できる

2 コミュニケーション力

3 学びに向かう力

現行 MOUSA1 における改訂のポイントを引き継ぎ、さらに充実した学習を促すよう工夫しました。

改訂の
ポイント

1

分かる・できる

生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力の育成と、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指します。

🎵 スモール・ステップを意識した構成

読譜が苦手であっても、まずはリズムから親しめるよう、リズムを意識できるような問いや教材を教科書の前半に掲載しました。

も の と む き あ う こ と い ま だ ー つ て こ わ
め い な ば く じ ゃ な い ー Ah...
し ら ず し ら ず か く し て た ほ ん と の こ え を ひ び か せ て よ、 ほ ら
し ら ず し ら ず か く し て た ほ ん と の こ え を ひ び か せ て よ、 さ あ
み な い フ リ し て い て も た し か に そ こ に い ま も そ こ に あ る よ
み な い フ リ し て い て も た し か に そ こ に き み の な か り に

考えてみよう! 23小節目から(78小節目からも同様)「♪ ♪ ♪」のリズムが繰り返されている。それによって生み出される効果について考えてみよう。

考えてみよう! 23小節目から(78小節目からも同様)「♪ ♪ ♪」のリズムが繰り返されている。それによって生み出される効果について考えてみよう。

(教科書 P.13)

リズムを意識できるような問いを設置。
「考えてみよう!」コーナーについてはP.9で詳しく解説しています。

教材に関連したソルフェージュ課題を取り上げ、スモール・ステップで効果的な学習を促します。

分割されたリズムを打つ練習

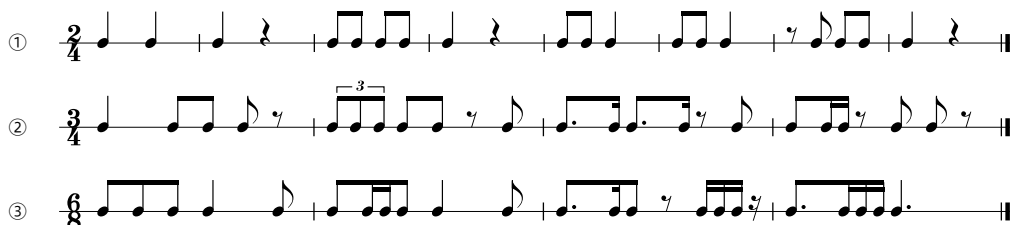
「3連符」や右ページで説明している「シンコペーション」のリズムの感覚をつかむために、次の譜例を打ってみよう。1～8のリズムを通して打てるようになったら、順番を入れ替えて打とう。また、各自1つずつリズムを選び、順に続けて打とう。



(教科書 P.14)

リズムを正確に打つ練習

拍を感じながらリズムを打とう。その際、休符が短くならないように注意しよう。



(教科書 P.18)

● スモール・ステップを意識した紙面

生徒が達成感を1つずつ積み重ねていけるように工夫しました。

46

音楽の基礎知識から楽器の選び方まで、初心者にもわかりやすい！
ギター・バイブル
「ギター」は音楽の世界に足を踏み入れるための第一歩。この本があなたの音楽の旅を導いてくれる。

Guitar

ギター

ギターの起源の考えとされるものが初めて記録に登場するのは13世紀のことである。現在みられるクラシック・ギターは、19世紀末にスペインのギター製作者が改良を試みたものである。20世紀に入るとさまざまな種類のギターが作られ、ジャズやロックなど幅広いジャンルで用いられるようになった。

各部の名称

ギターはクラシックギター(→P11)、フォークギター、エレキ(エレクトリック)ギター(→P112)に大きく分けることができる。形状は似ているが、フォークギターはクラシックギターに比べてボディが少し大きく、共通しやすくはない。ここではフォーク・ギターを取り上げる。

姿勢と構え方

●ピッチで弾く場合
押した指先の角度を一定にし、弦の振動で、ピッチを正確に出す。弦に対して垂直なようにする。

●度で弾く場合
人差し指の部分を押さえて弦に当てる。

肘を軽く曲げ、ボディーに近せる。

椅子に深く腰掛けた状態で演奏をする。

楽譜が安定しない場合は、足を組み込むのもよい。

右足の付け根にボーリーのくぼみをさせる。その際、サウンドホールが上を向くようにする。

右側の手の付け根に人差し指を上向きでネックを支え、肩と腕を動かさないようにする。
弦を押さえるときも、指を立ててフレットのすぐ後ろを押さえる。

チューニング

チューナーを使って各開放弦の音を確認する方法の他、まず第5弦の開放弦の音をピアノで合わせ、その音を基準にした残りの弦を調律に合わせていく方法などもある。いずれの場合も、ペグを回して音高を調整する。その間、合わせた音よりも音が高い場合は、いったんその音よりも低くしてから少しずつ上げていくといい。

フィンガーボードと音の関係

フレット番号	1弦 (E)	2弦 (D)	3弦 (G)	4弦 (C)	5弦 (B)	6弦 (E)
開放弦	E	D	G	C	B	E
1	F#	E	A	F	C#	F
2	G#	F#	B	G	D#	G
3	A#	G#	C#	A	E#	A
4	B#	A#	D#	B	F#	B
5	C#	B#	E#	C	G#	C
6	D#	C#	F#	D	A#	D
7	E#	D#	G#	E	B#	E
8	F#	E#	A#	F	C#	F

※第1～5弦の開放弦の音で選んだ場合は同じ音である。

左手のポジション確認

右の図例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを変えたら、(木箱)のメロディを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

実例は1オクターブ下

木星

(管弦楽組曲『皇帝』から)

ダクスター作曲による作曲

Andante maestoso

⑤弦を押さえた指をスライドさせて演奏しよう

STEP 1

- 右図のように1弦の上に弦を押さず(下の写真参照)、「ダウン・ストローク」(→P49)で、①のリズムを演奏しよう。
- 次に、②のように1弦の上に弦を押さず、右手で演奏しよう。
- ③の④のときに、1小節ずつ左手の手をスライドさせて演奏しよう。

そのとき、指を強くあまり離さないように注意しよう。

①一人差し指 ②中指 ③薬指

④左手

⑤右手

⑥右手

⑦右手

⑧右手

⑨右手

⑩右手

⑪右手

⑫右手

⑬右手

⑭右手

⑮右手

⑯右手

⑰右手

⑱右手

⑲右手

⑳右手

㉑右手

㉒右手

㉓右手

㉔右手

㉕右手

㉖右手

㉗右手

㉘右手

㉙右手

㉚右手

㉛右手

㉜右手

㉝右手

㉞右手

㉟右手

㊱右手

㊲右手

㊳右手

㊴右手

㊵右手

㊶右手

㊷右手

(教科書 P.46・47)

ストロークで演奏
する前に1ステップ

左手でいきなり複数の弦を押さえるのではなく、
まずは1音ずつフレットの位置を確認します。

○ 左手のポジション確認

右の譜例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを覚えたら、〈木星〉のメロディーを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

実音は1オクターブ下

準備段階では生徒がよく知っている楽曲《木星》を取り上げました。
和楽器の三線を扱ったページ(教科書 P.90・91)も同様に、「勘所」を確認するステップとして
生徒がよく知る《島唄》を掲載しました。

● 取り組みやすさに配慮した選曲

取り組みやすく、かつ、生徒がよく知っている楽曲を増やしました。一例として、「小学生の音楽6」に掲載されている《いのちの歌》を、MOUSA1(教科書P.66・67)ではリコーダーの教材として取り上げました。歌詞を載せて、二部合唱としても使用できるようになっており、「授業の始めに二部合唱できる簡単な曲が欲しい」という声にも対応しています。

 より楽しく、気軽にグループ活動に取り組めるアンサンブル教材を掲載

アベタカヒロ氏によりヴォイス・アンサンブル用に編曲された《残酷な天使のテーゼ》を新たに掲載しました。

24

各パートの役割を明確にし、リズムパターン・メロディ・ハーモニーを統一させる。

残酷な天使のテーゼ

原曲：高橋洋子 作詞：佐藤美奈 作曲：アベタカと口 編曲

♩ = 80
Dm/F B^b/D C/E F Dm/F Gm/B^b Am B^b

Lead

ぜん こく な でんしのよう に しやう ねんよー しんわになれー

Chorus I

A A A

♩ = 120 ~ 126
N.C.

F (小音符は2回目) Cau4 Dm7 Am/C

Lead

あおい か ら がーい ま わ ね の ド ア を たー
そつ と ふ れる も の も と め る こ と にー

Chorus II

p (小音符は2回目)

U U

(教科書 P.24 ~ 26)

ヴォイス・パーカッションの —
演奏例を動画で確認できます。

ヴォイパの コツについて説明

Du Du Lu Du Du Du La Da La Da しんわになれ

ド ッ タ ッ ド ッ タ ッ ド ッ タ ッ ド ッ タ ッ ド ッ タ ッ

ヴォイス・パーカッション

パーカッションのさまざまな音を、楽器を使わずに声だけで表現することを「ヴォイス・パーカッション」という。本来はマイクを使用し、マイクに息を吹き当てるようにしてドラムスの音を出すが、ここではマイクを使わない方法を説明する。

●それぞれの楽器の音の出方と発音の例 いずれの音も、少し唇を開いた横り口を口に軽く当てて発音する。

ハイハット・シンバル ……「ツ」
 「ツ」という感じの音の舌先に近い部分で軟く発音する。

スネアドラム ……「タ」「チ」とい
 う感じの音の舌先に近い部分で軟く
 発音する。

クラッシュシンバル ……パイハット・
 シンバルの音を長くとるはず。「ソー」「チー」
 という感じの発音になる。

バスドラム ……一番はしっかり握って腕に引きよ、すいかの種を
 1粒だけ食べかへ入ればイメージで音をかくし、すぐに唇を開き
 、「ドッ」「ド」という感じで深く低い音を息を加えながら。

タム・タム ……パイ・バ
 ドラムと同じ要領で唇を開き、「トゥン」
 という感じの音を少し強い息に加え、
 3度ほどぐぐぐの音を使い分ける。

ドラムス 112 ページ

● 個々の創造性を育むとともに、グループ活動によって協働しながら主体的に取り組むことができる教材

ボディー・パーカッションは楽器を用いないため、無理なく取り組むことができます。

Plymouth Rock

ブリマス ロック

マレイ・ホーリフ 作曲

19 リズムの要り合いを編

In a Rock style ♩ = 80 ~ 88

1. 目と手

手拍子

足踏み

The musical score is for 'Plymouth Rock' by Miley Horliff. It is in 4/4 time, marked 'In a Rock style' with a tempo of 80-88 beats per minute. The score is written for a single melodic line (likely a guitar or piano) and a bass line. The key signature has one flat (B-flat). The score is divided into four measures, each with a lettered box (A, B, C, D) indicating a specific rhythmic pattern. Measure A starts with a 'f' (forte) dynamic. Measure B starts with a 'mf' (mezzo-forte) dynamic. Measure C starts with a 'p' (piano) dynamic. Measure D starts with a 'p' (piano) dynamic. The score includes various rhythmic notations such as eighth notes, sixteenth notes, and rests, as well as fingerings (L, R) and articulation marks (accents, slurs). The score is presented on a grid background with a light blue header and footer.

19 リズムの要り合いを編

18 手拍子や足踏みのせたいよって音節を編めることに決めた

(教科書 P.18・19)

リズムの響きやリズムの感じ

19

手拍子や足踏みによって拍子が響く感じ、それを生かした演奏をしよう。

18

強弱や音色の工夫について説明

ポディー・パークッションを楽しもう！

《Plymouth Rock》は手拍子と足踏みだけで演奏する曲である。パートの役割を考えながら、手拍子や足踏みを工夫して演奏しよう。

- ①全員が①と②の両方のパートを演奏できるようになったら、グループに分かれ、どのように工夫したらより楽しいアンサンブルになるのかアイデアを出し合って練習しよう。
- ②グループ練習をするときには、**図4**の中から部分的に取り出して合わせるなど、練習方法を工夫しよう。
- ③よりよい演奏を目指して、試奏しながらグループ内で話し合う。
- ④各グループの表現の工夫に注目しながら、互いのアンサンブルを聴き合う。

演奏の工夫

- 例1** 強弱記号の書かれていない部分についても強弱の変化を考える。
- 例2** 強弱に合わせて手拍子の打ち方や足踏みの仕方を変える。
- 例3** 各パートのリズムの特徴を感じ取り、目立たせて演奏するリズムと、逆に目立たせないように演奏するリズムを決め、抑揚を付ける。
- 例4** 手拍子や足踏み以外のポディー・パークッション（拍鳴らしや膝打ちなど）も取り入れる。
- 例5** 《Plymouth Rock》に合うような曲の音源を持ち寄り、それに合わせて演奏する。

Pの手拍子

fの手拍子

Pの足踏み

fの足踏み

グループ活動に効果的なアンサンブル教材が豊富

動画サイトで話題となり、2012年公開のミュージカル映画にも使われた『Cups』のパフォーマンスをもとにした教材を取り上げています。

Clap, Tap with CUPS!

身近にあるコップ(紙製もしくはプラスチック製)を使い、手拍子や机を打つ音と組み合わせて、リズムを演奏しよう。コップで机を打つ際、飲み口側と底側のどちらを下にするかによって音は変わる。また、底側であっても、底全体で机を打つか、一部分で打つことによって音が変わる。自分たちのイメージする音色を目指して、何度も試しながら音の出し方を工夫しよう。

STEP 1 動作を覚えよう

下の5つの動作を覚えよう。

手拍子を打つ
(パン、パン)

片手で机を打つ
(トン、ト)

コップを持ち上げる
(スッ、ウッ)¹⁾

コップで机を打つ
(カン、ウッ、カッ、ウッ)²⁾

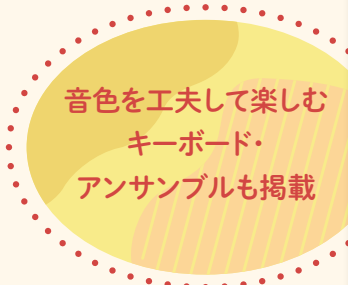
手でコップを打つ
(ボッ、ウッ)³⁾

※1: どちらでも軽く机を叩くことで音を出す。ウッはコップを逆手に持つ。
 ※2: カンは飲み口側、ウッは底側を、コップ全体で強く打つ。カッ、ウッは軽く打つで抑える。
 ※3: ウッは飲み口側、ボッは底側を打つ。

STEP 2 リズムを演奏しよう

コップを伏せた状態にセットしてリズムの演奏を始める。演奏する前にリズムを読んで覚えておくとよい。

(教科書P.20・21)



STEP 3 グループで演奏しよう

4〜8人くらいのグループに分かれ、輪になって演奏しよう。その際、最後の「カン」のとき、右隣の人の前にコップを置く。コップを回しながら演奏することができる。また、「パン」のときは手拍子を打つ代わりに両隣の人と手を打ち合わせるなど、いろいろなアイデアを出し合って自分たちなりのパフォーマンスを考えよう。

右隣の人の前にコップを置く

両隣の人と手を打ち合わせる

オリジナルのリズムをつくろう

いくつかの異なるリズムパターンを作り、それらを組み合わせるとよい。リズムパターンをつくる際は、音を出しながら

52

パートの役割を覚えて、リズムパターンのコンキョー・ポンド・アンサンブルをしよう

ミッション:インポッシブルのテーマ

(テレビドラマ「スパイ大作戦」から)

ラロ・フリン 作曲/野田 芳 編曲

(教科書P.52・53)

会話を参考に《この道》を分析

「主体的・対話的で深い学び」の本質に触れることができます。

《この道》徹底調査!

ここは名曲の秘密を探る探偵事務所。探偵と助手の会話を参考に、《この道》の旋律や曲の構成などについて分析し、曲の魅力に迫ってみよう。

Point 1 特徴的な旋律が伴奏に現れる。

前奏のピアノの旋律は簡名で読む「ソドレミ」だ。ふむふむ...

先生、いったいそれがどうだったんですか?

古今東西、この「ソドレミ」で始まる曲は実にたくさんあるのだよ。古くはヘンデル(水上の音楽)の《アラ・ホーンパイプ》から、久石譲の《Summer》まで。途中の音を繰り返す(サトウハチローやジャズなど)なんとも不思議、短調もめつら(フィガロの結婚)も...

Point 2 臨時記号が複数現れる。

前奏からこの臨時記号の数、どういことだ... うむ...これは事件だ!

確かに、《Caro mio ben》なんかを見ても、前奏には臨時記号が付いていないですね。

いいところに気が付いたじゃないか。キミ。ではこれがどうい効果をもたらしているか、分かるかな? ヒントは... そうだな、臨時記号を全て取り去って弾いてみると分かるのではないかな。

Point 3 同音連打が現れる。

先生、この同音連打はなんですか? 何を表現したいのでしょうか...

先ほどの応用だよ。これが同音連打でなければ... つまり、例えば長い音符だった場合を想像してみよう。

Point 4 拍子が変わる。

この拍子の変化一案におもしろい。これがどんな効果を生んでいるか、キミに...

先生、もう分かりました! 「拍子」が変化しなかったら... を考えてみるんですね!

そのふむ... なるほど。拍子が変わらなければ... なるほど。拍子が変わらなければ... なるほど。拍子が変わらなければ...

あ、同音連打は他の小節にもあるな。あれは... いったい...?

歌のフレーズはなぜこんなに自然に日本語に聞こえるんだろ?

Point 5 曲の雰囲気に変化する。

この「ああ」の部分、この曲で「唯一」の事件が起きたことになっているね。

これはボクにも分かりますよ! 歌パートの「ゆるく」という指示、伴奏パートの「colla voce」はここだけなんです。旋律の高いE音もここだけですよ。

そのとおり。さらに、旋律の4度跳躍も、下行はここだけじゃないかね?

あ、さすが先生! ほんとうですね。それで、それが何を意味しているんでしょうか?

だから、それを考えるのがキミの仕事じゃないか。ふふ...そろそろ眠くなってきたぞ。私はこの気に入りのロッキングチェアで少々眠らせてもらう。

せ、先生...そんなあ...

Point 6 歌の旋律にスラーが現れる。

うーん、ボク一人でも調査ができるってこと、見せてやんなきゃ!

ん? この旋律、なんだか気になるな...そうか! これまでタイがなかったけどスラーはここが初めて。つまり、初めて「(のぼし)」で音が変わってるところがおもしろい。しかもこれは7度跳躍? これは...

.....(ふむふむ、できるじゃないか、その調子だ)

Point 7 非和音が変化を与える。

この1拍目、なんだか気になる和音なんだけど、何が起きているんだろ? うーむ...分からない...

むにや...い...お...ん...むにや...

いおん?...ああ! 先生が前に言ってたぞ、「ああ」で和音から入って、すぐ次の音に解決する音があるって。それがたぶん「音響」! そうか、もしかして、これもあるかも...

Point 8 メゾ・ソプラノが現れる。

曲ももう終わりだけど、なんだろうこの記号? テノールとソプラノって、まるで反対の意味じゃないの?

いや、落ちていて考えてみよう。テノールだったから、ソプラノだったから、はまたたいての記号も付いていなかったら...

うん、どうだったらいかが、見てきた気がするぞ!

.....(うむ、やはりキミは優秀な助手だよ。そうやって試行錯誤することで、大切なことが見えてくるのだ)

探偵からの挑戦状

名曲の秘密、助手とついでに探ることはできかね? ふむ、キミもなかなか探偵としての素質をもっているようだ。だがこれがゴールではない。分析した結果を踏まえ、音としていかに表すかが重要なのだ。自分なりの解釈と表現を、ぜひ試してみよう!

(教科書P.36・37)

多角的なアプローチで好奇心をくすぐる

3つの観点から、ビゼーのオペラ《カルメン》にアプローチしました。口絵では、舞台の様子を大きく掲載し、音楽の世界へといざないます。鑑賞の学習を通して理解したことをアリアの歌唱に生かし、豊かな表現を目指します。

口絵

メトロポリタン・オペラ 2010 年公演から



(教科書 P.2・3)

鑑賞

74 **CARMEN** オペラ カルメン ジョルジュ・ビゼー 作曲

《カルメン》は全4幕からなるフランス語のオペラで、1875年にパリで初演された。フランスの作家プロスペール・メリメ(1803～1870)がスペインへ旅行した際に着想を得て書いた小説をもとに台本化されている。その音楽は色彩豊かで劇的効果が高く、今日上演されるオペラの中で最も人気の高い演目の一つとなっている。しかし、作曲したビゼー(1838～1875)はその成功を見ることなく、初演からわずか3か月後に36歳という若さで世を去った。

●音楽の情景に、冒険の快活な主題(雄略曲)から一転して悲劇的な主題が登場する。この主題は劇中にたびたび現れるが、それがどのような場面で現れているの注意して聴こう。

●劇中で演奏される4人のアリアの特徴を捉え、それらが場面の状況や登場人物の心情とどのように結びついているのか話し合おう。

第1幕への前奏曲
A Allegro giocoso (♩=118)
B Andante moderato (♩=56)

《カルメン》のアツい人間模様

ミカエラ (ホセの許嫁)
「(戦いでも勝れてはいけないうわ。)(前奏曲から)」

ホセ (軍隊の兵長)
「(カルメン、おまえに勝つてしまったんだわ。)(前奏曲から)」

カルメン (ロマの女)
「(戦いでも勝たない人か。)(前奏曲から)」

エスカミーリョ (人見知る兵士)
「(すでに勝つことを諦めてるだろう。)(前奏曲から)」

●主要登場人物と関係

オペラのヒロインはソプラノによって演じられることが多いが、この作品ではソプラノよりも低い音域のメゾソプラノが主役を務める。カルメンは活気のある豊かな声質が求められ、メゾソプラノを代表する声の一つとなっている。カルメンをはじめ、その他の登場人物の個性にも注目して聴いてみよう。

(教科書 P.74・75)

表現(歌唱)

- アリア《ハバネラ》(教科書 P.76)
- 《闘牛士の歌》(教科書 P.77)

76 **ハバネラ** (オペラ《カルメン》から)
宮本龍夫 日本語訳/ジョルジュ・ビゼー 作曲/横山潤子 編曲

Allegretto quasi Andantino (♩=72)

1 こい は きまぐれ じゆう なーこーと りさ いく
2 つ い に とら え りや また す ぐーにーに げ りな

6 ら ん で も とら え らーれーは し あ ま い こと ば
ば ま つ の さ そ の う ちーにーか え る あ た り す ば や

11 ら き き め はーなーい の さ ぐ ち ら お ま え を つ い ば
く じ ゆ う にーとーび か い つ か ま え た ら に げ に げ た

16 ひーこい の と り ー L'a - moor! L'a -
らーの か ま え

21

(教科書 P.76)

生徒が楽譜に興味をもち、音楽について主体的に考えるきっかけとして、それぞれの楽曲の特徴について、音楽を形づくっている要素などに着目して考えることのできる問いを用意しました。

※レイアウト等の都合により、全ての楽曲に設置されているわけではありません。

考えてみよう!

考えてみよう!

-
- わ だ に も の—い—う さ く ら ぎ を み ず や ゆ う ぐ れ て を の
- て わ れ き し ま—ぬ—く あ ゐ—や ぎ を に し ぬ お り—な—ず
- ち—う—て い に く れ ば の—び—る お ぼ—ろ—き げ に い—つ
- こ く も せん ぎ ん の な が め を 反—に—に た—ろ—へ—き *rit. a tempo*
- 編曲：久石譲

日本語と旋律／詩の心を大切に歌おう／日本語の歌詞の歌い方 39ページ

作曲家の生きた時代背景や当時の生活などについて深く知ることができる「クローズ・アップ・マエストロ」。

モーツァルトを取り上げ、活動拠点をもとに時代を分け、そのときにつくられた代表曲を挙げています。

モーツァルトの年譜を掲載。
探究学習として他の作曲家での展開も可能です。

(教科書 P.141 ~ 143)

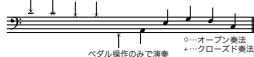
二次元コードコンテンツの充実

音声や動画など充実した内容の二次元コードコンテンツを用いて、実際に視聴しながら確認することにより、知識を確実に習得できます。

動画

ドラムス Drums

ドラムスは、基本的に右のような楽器で構成されている。ドラムスの楽譜は通常へ音譜表で書かれるが、音高は関係なく、下のような音符を五線譜上の決まった位置に書き表す。



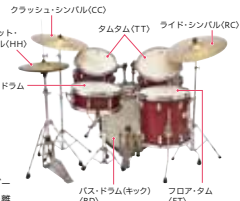
ペダルの奏法

BDとHHにはそれぞれペダルが付いている。BDはペダルを踏むとビーターが鼓面を打つ仕組みになっている。また、HHは左足でペダルを踏んだり踏んだりしてシンバルを開閉する。音符の上に○が付いているときはペダルを離して開けた状態でたたくオープン奏法、音符の上に+が付いているときはペダルを踏んで閉めた状態でたたくクローズ奏法である。何も記されていないときは、クローズ奏法と考えてよい。

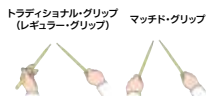
スティックの持ち方

代表的な持ち方に、トラディショナル・グリップ(レギュラー・グリップ)、マッチド・グリップがある。握る部分は、スティックの重心の位置にもよるが、端から3分の1辺りが一般的である。《Twist And Shout》では、マッチド・グリップを使うとよい。

【基本的なドラム・セットの例】(奏者から見た場合)

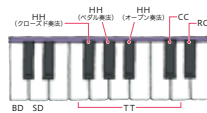


【代表的なスティックの持ち方】



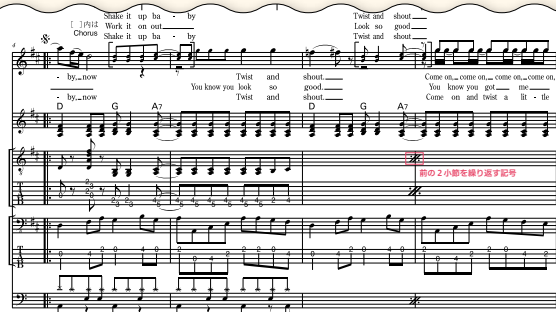
キーボード Keyboard

キーボードはさまざまな音色を備えているので、バンドスコアのギターやベース、ドラムスのパートを全て1台で演奏することが可能である。例えば、ドラムスのパートにキーボードを用いる場合、各楽器が右の鍵盤図のような配置になっていることが多いので、BDとSDを左手で、その他を右手で演奏するとよい。音量の調節も容易なので、キーボードを活用してバンド・アンサンブルを楽しもう。



65ページ TAB(タブ)譜の読み方

108ページ What is JAZZ?



※：ドラムスの楽譜の場合は、急速で任意の数になる連打(一般にロール奏法という)を表し、装飾音のように先行して奏する。

※：1961年リリースのアルバム「ブリーズ・ブリーズ・ミー」収録。翌年にアイズレー・ブラザーズがR & B風にアレンジしたものをビートルズがカバーし、63年リリースのアルバム「リブ・オール・ザ・リブ・ミー」収録。当時、ライブで必ず演奏する楽曲の一つであった。

その他 others

アンプのつなぎ方

エレキ・ギターやエレキ・ベース及び、キーボードは、アンプにつないで使用する。電源を入れたままアンプにシールド・コード(ケーブル)をつないで、インプット以外のジャックにつないだりしないように注意しよう。

エフェクター

アンプにはエフェクター(音色に特殊な効果を与える装置の総称)が付いていることが多い。代表的な機能として下のような種類がある。
●リバーブ：音に人工的な残響効果をつける。
●ディレイ：原音に遅れた音を加えて「山びこ」のような効果をつける。
●コーラス：原音にピッチの違う音を加えて音に深みを出す。
●オーバードライブ、ディストーション：音をひずませる。

(教科書P.112～115)

ドラムスの演奏方法を動画で確認



ギターの奏法を動画で確認



「ギター」

(教科書P.46～51)



「指揮にチャレンジ」

(教科書P.41～43)

ジャズの演奏を映像で鑑賞



指揮の振り方を動画で
分かりやすく解説

その他、発声や楽器の
奏法、外国語の
発音などを動画で
サポートします。

「What is JAZZ?」

(教科書P.108・109)

音声、テキスト

は し る まーち を み おろ し てー の ん び りー く も が

23 F G C E E7 Am AmM7 Am6

おーいーでく だ から あーる い て か え ろ うー きょう は あ る い
むーねーの な か よ り みーち な ん か し て た らー お い て は か れ る
おーいーでく ぼ く は あーる い て か え ろ うー きょう は あ る い

27 F Fm C D.S. C

て か え ろ う
よ て (5) い つ も
か え ろ う

1994年にリリースされたこの曲は、シンガー・ソングライターの高橋和義(1966～)の4枚目のシングルで、子ども向けテレビ番組のオープニング曲に採用され、人気を得た。

考えてみよう!
拍子の強拍(1拍目)と弱拍(それ以外の拍)の位置をずらすことで、緊張感が生まれる。
※4拍子の場合、3拍目は1拍目に次ぐ強拍と位置付けられる。

例1
は し る まーち を み おろ し てー

例2
は し る まーち を み おろ し てー

ピアノ伴奏

(教科書 P.15)

教科書に縦書き歌詞が掲載されていない教材は歌詞を表示

おはようおはよう

近所街を見下ろしてのんびり雪が溶けゆく
誰にも買えないことば どうすりゃいいの?おしえて

急ぐ人にあやつられ右も左も同じ顔
寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ すぐに

ピアノ伴奏のある表現教材は
ピアノ伴奏を聴くことができます。

ピアノ伴奏

0:00 / 0:00

MOUSE1 [目次 contents] にも

pの手拍子 fの手拍子 pの足踏み fの足踏み

リズムを正確に打つ練習 拍を感じながらリズムを打とう。その際、休憩が短くならないように注意しよう。

① ② ③ ④ I II ⑤ I II

ボディーパーカッション

(教科書 P.18)

クリック音やパート別音源が
リズム練習をサポート

おはようおはよう、パーティーセッションを聴こう

4分の2のクリック音

4分の3のクリック音

8分の6のクリック音

④ I パートの演奏

④ II パートの演奏

⑤ I パートの演奏

⑤ II パートの演奏

MOUSE1 [目次 contents] にも

その他、外国語歌曲の原語歌詞の朗読やリズム読み、
ソルフェージュ及びリズム課題の補助音源などで
学習をサポートします。

二次元コードコンテンツ一覧

ピアノ伴奏	Wiegenlied (P.61)	言わない (P.121 ~ 123)	歓喜の歌 (P.60)	三味線 (P.92-93)
O Waly Waly (P.10)	天国と地獄 (P.64)	早春 (P.124 ~ 127)	Wiegenlied (P.61)	箏 (P.94-95)
Ave Maria (P.11)	いのちの歌 (P.66-67)	ギター伴奏	Les Champs-Élysées (P.78-79)	バンド・アンサンブルに挑戦 (P.112~115)
群青 (P.12-13)	Do-Re-Mi (P.70-71)	グリーンスリーブス (P.64)	合唱パート別練習	ギター/キーボード・コード表 (P.156-157)
翼をください (P.14)	美女と野獣 (P.72-73)	Castle On A Cloud (P.65)	懐かしケンタッキーの我が家 (P.128)	ソルフェージュ
歩いて帰ろう (P.15)	ハバネラ (P.76)	歌詞	いつか、海へ (P.129 ~ 131)	リズムを正確に打つ練習 (P.18)
若者のすべて (P.16-17)	闘牛士の歌 (P.77)	群青 (P.12-13)	奏法動画	メロディーを階名で歌う練習 (P.32)
'O sole mio (P.28)	Les Champs-Élysées (P.78-79)	歩いて帰ろう (P.15)	響く歌声を目指そう! (P.10-11)	音・リズムを聴き取る練習 (P.33)
Caro mio ben (P.30-31)	夕焼小焼 (P.99)	若者のすべて (P.16-17)	Clap, Tap with CUPS! (P.20-21)	作品例
花 (P.34)	朧月夜 (P.99)	いのちの歌 (P.66-67)	ヴォイス・パーカッション (P.26)	キッチン・ミーティング (P.22-23)
この道 (P.35)	紅葉 (P.100)	真赤な太陽 (P.118)	指揮にチャレンジ (P.41 ~ 43)	創作 2/3/4 (P.80 ~ 83)
むこうむこう (P.38)	故郷 (P.101)	クリスマス・イブ (P.119)	ウクレレ (P.44-45)	その他、参考資料
小さな空 (P.40)	京畿道アヒラン (P.105)	朗読・リズム読み	ギター (P.46 ~ 51)	Horn! 響きは時空を超えて (P.4-5)
夏の思い出 (P.42-43)	美しいエンメンタール (P.105)	'O sole mio (P.28)	チャイム (P.54-55)	音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人 (P.27)
Heidenröslein (P.58)	真赤な太陽 (P.118)	Caro mio ben (P.30-31)	リコーダー (P.62-63)	郷土の民謡と芸能 (P.102-103)
Sah ein Knab ein Röslein stehn (P.59)	クリスマス・イブ (P.119)	Heidenröslein (P.58)	篠笛 (P.88-89)	ジャズ (P.108-109)
歓喜の歌 (P.60)	荒野の果てに (P.120)	Sah ein Knab ein Röslein stehn (P.59)	三線 (P.90-91)	ラチェットの演奏 (P.136)

こちらの二次元コードより、実際の二次元
コードコンテンツをご視聴いただけます。



多感な時期を迎えた生徒が楽しみながら幅広く音楽を学習できるような教材を精選し、提示の仕方を工夫しながら、ポピュラー・ソング、唱歌、芸術歌曲、合唱曲、ミュージカル・ナンバー、オペラ・アリアなどを取りそろえました。特に、長い間歌い継がれ、親しまれてきたものを豊富に扱うとともに、我が国の伝統的な歌唱も学習できるよう、能の謡を取り上げました。

合唱曲、ヴォイス・アンサンブル

佐井孝彰氏の《言わない》(同三／伴奏付き)に加え、信長貴富氏の《早春》(混三／伴奏付き)、三宅悠太氏の《いつか、海へ》(混四ア・カペラ)を新たに収録しました。その他、取り組みやすいア・カペラの入門曲やミュージカル・ナンバーも取りそろえました。

本書のための書き下ろし作品

129

パートの役割を理解して、ハーモニイの变化を感じながら、カベラ 歌おう

いつか、海へ

作詞 宮下奈都 作曲 三宅悠太

♩ = 88 くらい *p* *M* *M* *p*

いく せん の ひ と が 一 と お っ て き た み ち を

6 *V* *B.O.* *B.O.* *p*

一 た っ た ひ と り で あ る く ひ と り で 一

— — *B.O.* *B.O.* *p*

— — *B.O.* *B.O.* *p*

— — *B.O.* *B.O.* *p*

(教科書 P.129 ~ 131)

こちらの二次元コードより、楽曲の一部をご視聴いただけます。



日本の伝統的な歌唱

日本の伝統音楽への理解を深めることができるよう、能の謡を取り上げました。

掲載曲：《高砂》(教科書 P.86)／《羽衣》(教科書 P.87)

[illegible]

(教科書 P.87)

ポピュラー・ソング

歌謡曲からJ-POP、ミュージカル・ナンバーまで、
それぞれの時代を彩った歌を選びました。

2020年代《群青》(P.12・13)

2000年代 《いのちの歌》(P.66・67)

《若者のすべて》(P.16・17)

1990年代《残酷な天使のテーゼ》(P.24～26)

《歩いて帰ろう》(P.15)

1980年代《クリスマス・イブ》(P.119)

1970年代《翼をください》(P.14)

1960年代《真赤な太陽》(P.118)

1950年代 《Do-Re-Mi》(P.70·71)

謡い方のイメージを表した絵譜

●柔かい息遣いで抑揚を付けて謡おう。

〈謡い方のイメージを表した譜〉

さくら い ひとし
櫻井 寛 楽譜構成

(拍) 1 2 3 4 5 6 7 8 1 2 3 4 5 6 7 8

(上音のウキ) うま あ

(上音) あ ず ア そ び の か ず か ず に

(上音のウキ) オ な も

(上音) そ の オ つ き の い ろ び イ と は

(上音のウキ) オ や

(上音) さ ん ご ア ち う の そ ら に ま た

(上音のウキ) あ ん し ん に

(上音) ま ん が い ん オ の か げ と オ な ア り

(上音のウキ) あ ん

(上音) ご が ん ま こ く う ど

(中音のウキ)

(中音) え ん ア ん じょ オ じ ゅ

外国の歌曲

イタリア語とドイツ語の歌曲は定番曲を取りそろえました。原語歌詞の意味も掲載しています。フランス語はポピュラー・ソングを取り上げました。

新規掲載曲：《Sah ein Knab ein Röslein stehn》(教科書 P.59)／《歡喜の歌》(教科書 P.60)／《Wiegenlied》(教科書 P.61)

器楽

楽器や奏法の説明と、実際に演奏する曲の楽譜を見開きに配置し、常に確認しながら演奏できるよう紙面構成を工夫しました。また、ボディー・パーカッション、バー型チャイムなど、グループ活動で協働しながら学習を進めることのできる教材や、さまざまな楽器編成によるアンサンブル教材など、バラエティー豊かな曲を取りそろえました。

ウクレレ

コード演奏やストローク奏法を無理なく楽しめるウクレレの教材を掲載しました。楽器や奏法についても詳しく説明しています。

掲載曲：《Michael, Row The Boat Ashore》(教科書 P.45)／《真珠貝の歌》(教科書 P.45)

楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜を見開きに配置

ウクレレ

19世紀末、ポルトガルからの移民によってギターに似た小型の弦楽器がハワイに持ち込まれた。やがて移民たちがハワイの木材を使って楽器を作るようになり、「ウクレレ」と名付けられて定着した。一説によると、ウクレレとはハワイ語で「跳ねる楽器」を意味するといわれる。

各部の名称

写真はソプラノウクレレ

ヘッド
ペグ(糸巻)
ナット
ネック(首)
フレット
フィンガーボード(指板)
ボディ(胴)
サウンドホール
ブリッジ(橋)

姿勢と構え方

背筋を伸ばす。
ボディを右足の内側と胸の間に挟むようにして持つ。
右手の人さし指は、爪の側面を弦に当てる。
左手で弦を押さえるときは、指を立ててフレットのすぐ近くを押さえる。
ヘッドが胸の辺りにくるように構え、ネックを少し前に出す。
ヘッドを左手の人さし指の付け根付近に当てる。
楽器から離れたところ

チューニング

チューナーなどを使い、ペグを回して音高を調節する。なお、第4弦の音を1オクターブ高く調節する場合もある。

ダイアグラム

横の線が弦、縦の線がフレットを表している。●は押さえる位置、○は開放位置、その中の数字は左手の指の番号を示す。
●ダイアグラムの例(Gコード)
押さえる位置と左手の指
第1指(人さし指) 第2指(中指) 第3指(薬指) 第4指(小指)
ナット フレット番号
弦を押さえる左手の指 人さし指 中指 薬指 小指

左手のポジション確認

右下のダイアグラムを参考にしながら、八度音程を低い音から順に右手の親指で弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを見えたら、《Annie Laurie》(アニー・ローリー)のメロディーを弾いてみよう。

ハ長調の音階

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

左手のポジション

1 2 3

Annie Laurie (アニー・ローリー) アリシア・スコット作曲

Andante

5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ギター 46ページ

ストローク奏法で伴奏しよう

STEP 1 《Michael, Row The Boat Ashore》を歌いながら、ストローク奏法で伴奏しよう。「ストローク」とは、左手でコードを押さえ、右手の人さし指でリズムを刻む奏法である。できるだけ4本の弦が同時に鳴るように、第4弦から第1弦に向かって手首を支点に振り下ろして弾く「ダウン・ストローク」で演奏しよう。

使用するコード

C F G

使用するリズム

ヘビーストローク
4分音符を示す

Michael, Row The Boat Ashore (こげまichael)
アフリカン・アメリカン・スピリチュアル

♩ = 104

C F G C F G C

Mi - chael, row the boat a - shore, Hal - le - lu - jah!

C F G C F G C

mi - chael, row the boat a - shore, Hal - le - lu - jah!

「私の船を向こう岸(天国)へ連れて行ってください」と歌われている。

STEP 2 《真珠貝の歌》を「La」や「Lu」などで歌いながら、ストローク奏法で伴奏しよう。まず、STEP 1で使ったリズムをダウン・ストロークで演奏し、次に第1弦から第4弦に向かって弾く「アップ・ストローク」を加えたリズムを演奏しよう。

使用するコード

G C A7 D7 G7 Cm

使用するリズム

アップ・ストローク
8分音符を示す
上記のリズムに慣れたら、
で演奏しよう。

真珠貝の歌
ハワイ民謡

Moderato

G C A7 D7 G7 Cm

「La」や「Lu」などで歌う

1. 2. 3.

ハワイの伝統的な民謡に英語の歌詞が付けられて、《Pearly Shell》(日本では《真珠貝の歌》)として広まった。

実際の演奏方法を動画で確認

(教科書 P.44・45)

ギター

3つのコードで演奏できる曲を取り上げ、ストローク奏法を学習します。また、メロディーと伴奏(和音と低音)に分かれて楽しむことのできるアンサンブル曲も掲載しました。

掲載曲：《日曜日よりの使者》(教科書 P.48・49)／《第三の男のテーマ》(教科書 P.50)

アンサンブル

バー型チャイム用に編曲した《The First Noel》を新たに掲載しました。また、ボディー・パーカッションやバー型チャイムのアンサンブルでは、演奏する際の注意点や工夫例などを示し、グループで楽しみながら表現を深めることができるようにしています。

リコーダー

各学校や生徒の実態を考慮し、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や、アルトの二重奏もしくはソプラノとアルトの二重奏で演奏できる曲などを掲載しました。

掲載曲：《天国と地獄》(教科書 P.64)／《C-a-f-f-e-e》(教科書 P.64)／《グリーンズリーヴス》(教科書 P.64)／
《Castle On A Cloud》(教科書 P.65)／《いのちの歌》(教科書 P.66・67)

和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな和楽器を選択できるよう、篠笛、三線、三味線、箏の4種類を取り上げました。楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜をそれぞれ見開きに配置しています。

創作

表現したいイメージを着実に作品にしていけることができるよう、具体的な例を挙げながら簡潔かつ丁寧に手順を示しました。また、歌唱の教材と関連付けることにより、取り組みやすくなるだけでなく表現も深めることができます。

●《虹の彼方に》のメロディーを用いて、変奏と編曲に取り組みます。

《虹の彼方に》
C Am Em C F D[♯]dim7 C/E C7
ハロルド・アーレン 作曲

創作2では、変奏方法の例を
分かりやすく提示

【軽快でアップ・テンポな雰囲気に変化させる例】

例1 音を挿入し、音の動きを細かくする。
a. b.
例2 休符を挿入する。
a. b.
例3 付点音符やシンコペーション(→P.15)のリズムを用いる。
a. b.
付点音符を用いたリズム シンコペーションを用いたリズム

(教科書 P.80)

創作3では、キーボード・アンサンブル
三重奏に編曲するための手順を詳しく解説

手順1 3つのパート(メロディー、ハーモニー、ベース)にふさわしい音色(楽器)を選ぶ。
例 メロディー：トランペット、ハーモニー：ストリングス(弦楽器)、ベース：ファゴット など

手順2 ハーモニーパートをつくる。その際、コードの構成音を調べ、それをもとに構成音の配置を変える。
例

手順3 ベースパートの音を各コードの構成音の中から1音選ぶ。ルート(根音)や、コードを特徴付けている音(第3音など)にする。その際、キーボードで音を確認しながら、メロディーとのバランスを考えよう。ベースが指定されている場合は、その音を使用する。
例

手順4 メロディーパートがより引き立つように、ハーモニーとベースのパートに音や休符を挿入して、リズムを工夫する。その際、自分が表現したいイメージと音色が合っているかどうか確認する。
例

2 上の手順を参考に、《虹の彼方に》の続きを編曲しよう。また、強弱を考えたり、スラーやテヌーなどの記号を加えたりして、表情豊かなアンサンブル作品にしよう。

3 作品ができあがったら発表し合い、意見を交換しよう。また、その意見を参考に修正を加え、よりよい作品にしよう。

コード・ネーム 154ページ キター/キーボード・コード表 156ページ

(教科書 P.81)

●オノマトペを用いてリズム・アンサンブルをつくり、五線譜以外の方法で記録するユニークなグループ活動に取り組みます。

(教科書 P.22・23)

●順次進行と跳躍進行に着目し、楽しみながらメロディーづくりに取り組みます。

82 創作4
順次進行をもとにメロディーをつくらう
ジャンル問わず、長く歌い継がれていたり、愛されている曲には順次進行が使われていることが多い。順次進行とは、音階の隣り合う音どうしをつなげて形づくっていく音の進行のことで、歌いやすく、滑らかな表現に特徴がある。その順次進行をもとにメロディーをつくらう。

1 《秋歌》のメロディーを見てみよう。下の楽譜は、八長調に移調した《秋歌》のメロディー。女声合唱9番第4楽章から《秋歌》のメロディー。

メロディーは、同音が続くところもあるが、基本的に順次進行でつくられている。また、全体に4分音符が多く用いられているが、4小節目と8小節目の3拍目には2分音符が使用され、4小節目が「長く感じ」、8小節目が「終わる感じ」になることによって、曲としてのまとまりが生まれている。

2 順次進行のみを用いたメロディーをつくらう。下のルールを参考にして、順次進行のみを用いた8小節目のメロディーをつくらう。その際、キーボードなどを用いて、音を確認しながらつくるとよい。

ルール(八長調の場合)

- 「ド」「ミ」「ソ」のいずれかの音から始める。
- 4小節目で「ソ」「シ」「レ」のいずれかの音で小休止する。
- 最後は「ド」で終わるようにする。「ド」への到達が難しい場合は「ミ」「ソ」でも構わない。
- 同じ音が続いてもよい。

(教科書 P.82・83)

順次進行のみを
使用した創作例

例

リズムを変化させると同時に音も加える
順次進行を保ったまま、音を加え大きく変化させる

跳躍進行を
加えた創作例

例

Cコードの構成音 G7コードの構成音以外の音
コードの構成音以外の音に跳躍した場合は、反対の方向(上行した場合は下行)のいちばん近いコードの構成音に戻す

◆ デジタル・コンテンツの活用につなげる

MOUSAの創作ページは、キーボードなどを使いながら音の組み合わせやつなげ方を試し、五線に記入する従来の方法に加え、五線の代わりにICT機器や音楽Webアプリケーション(「カトカトーン」など)を用いて学習できる内容となっています。

こちらの二次元コードより、
カトカトーンの詳しい
情報をご覧ください。



● カトカトーンについて

教育芸術社が開発した、Webブラウザ上で楽しく感覚的に音楽制作ができる音楽Webアプリケーション。

資料

音楽を学習するうえで必要となる基礎的・基本的な知識の習得や、教科書の学習活動をサポートするコーナーを設けることで、生徒の表現と鑑賞の能力を育て、興味をもって主体的に学習できるようにしました。多くの生徒にとって「音楽を学ぶ」機会が音楽Ⅰで終わってしまう実情を踏まえ、卒業後も手元に残しておきたいと思える教科書になるような資料を豊富に取りそろえました。

基礎・基本の力

「ソルフェージュ」「楽典」などを取り上げ、音楽の基礎的・基本的な能力の定着を図れるようにしました。

32 *solfège*
ソルフェージュ

音符を読む練習 1から順に音高を付けた音に名前を当てる。また、ピアノやキーボードで実際に弾いて音を確かめよう。

リズムを正確に読む練習 音高を付けた音に、メロディーのリズムを添えて読む。その際、手で拍の辺りを軽く打ちながら拍を取る。

(教科書 P.32・33)

「楽譜を読めるようになった」と
実感できるよう、豊富な課題を提示

歴史

「日本音楽の流れ」「西洋音楽の流れ」を簡潔にまとめて示し、鑑賞の際に歴史的背景も知ることができるようにしました。また、「郷土の民謡と芸能」「歌謡曲からJ-POPへの100年」においても、その歴史や背景を知って親しむことができるよう配慮しました。

日本音楽の流れ (教科書 P.96～98)

西洋音楽の流れ (教科書 P.144～147)

郷土の民謡と芸能 (教科書 P.102・103)

歌謡曲からJ-POPへの100年 (教科書 P.116・117)

音楽の楽しみ

生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができるよう、さまざまな音楽に接する際の切り口を多様な観点から示しました。

Horn! 響きは時空を超えて (教科書 P.4・5)

小説や漫画で描写される音楽 (教科書 P.17)

舞台芸術 (教科書 P.68・69)

その他の資料

表現と鑑賞とを関連付けたページを含め、これまでに紹介した資料の他にも、教科書の学習活動をサポートするだけでなく卒業後も活用できる資料を豊富に取りそろえました。

音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人

(教科書 P.27)

オーケストラを知ろう (教科書 P.148・149)

コード・ネーム (教科書 P.154・155)

ギター／キーボード・コード表 (教科書 P.156・157)

作曲家の年表と主な作品 (教科書 P.158・159)

コードの押さえ方を動画で確認



156 **ギター／キーボード・コード表**

ダイアグラム
● 押さえる指 ● 押さない指 × 押さない指 ● ルート ○ セーバー・人差し指で2本以上の弦を同時に押さえる
1…人差し指 2…中指 3…薬指 4…小指 ダイアグラムの下の数字…フレット番号

	C	C#D	D	D#E	E	F
メジャー						
セブンス						
M7 メジャーセブンス						
m マイナー						
m7 マイナーセブンス						
dim7 ディミニッシュセブンス						
sus4 サスペンデッド						
コード オープンコード						

(教科書 P.156・157)

令和8年度 MOUSA1 掲載曲

□は新規掲載もしくは企画が変更されたもの

	曲 名	作 曲
歌 唱 ・ 器 楽	O Waly Waly (The Water Is Wide)	イングランド民謡
	Ave Maria	作曲者不詳
	群青	Ayase
	翼をください	村井邦彦
	歩いて帰ろう	斉藤和義
	若者のすべて	志村正彦
	Plymouth Rock	M. ホーリフ
	Clap, Tap with CUPS!	
	残酷な天使のテーゼ	佐藤英敏
	'O sole mio (我が太陽)	E. ディ・カープア
	Caro mio ben (いとしの わがきみ)	G. ジョルダーニ
	ソルフェージュ	
	花	滝 廉太郎
	この道	山田耕柞
	むこうむこう	中田喜直
	小さな空	武満 徹
	夏の思い出	中田喜直
	Michael, Row The Boat Ashore (こげよ マイケル)	アフリカン・アメリカン・スピリチュアル
	真珠貝の歌	ハワイ民謡
	日曜日よりの使者	甲本ヒロト
	第三の男のテーマ (映画『第三の男』から)	A. カラス
	ミッション：インポッシブルのテーマ (テレビ・ドラマ『スパイ大作戦』から)	L. シフリン
	The First Noel (牧人ひつじを)	イギリスのキャロル
	Heidenröslein (野ばら)	F. シューベルト
	Sah ein Knab ein Röslein stehn (野ばら)	F. レハール
	歓喜の歌	L.v. ベートーヴェン
	Wiegenlied (子守歌)	J. ブラームス
	天国と地獄 (オペレッタ『地獄のオルフェ』序曲から)	J. オッフェンバック
	C-a-f-f-e-e	C.G. ヘリング
	グリーンスリーヴス	イングランド民謡
	Castle On A Cloud	C-M. シェーンベルク
	いのちの歌	村松崇継
	Do-Re-Mi	R. ロジャーズ
	美女と野獣 (映画『美女と野獣』から)	A. メンケン
	ハバネラ (オペラ『カルメン』から)	G. ビゼー
	闘牛士の歌 (オペラ『カルメン』から)	G. ビゼー
	Les Champs-Élysées (オー・シャンゼリゼ)	M. ウィルシュ、M. ディガン
	能《高砂》から	世阿弥
	能《羽衣》から	作者不詳
	たこ たこ あがれ	わらべうた
	かごめ かごめ	わらべうた
	子守歌	日本古謡
	お囃子 (《あんたがたどこさ》の旋律による)	わらべうた
	海の声	島袋 優
	ていんさぐぬ花	沖縄県民謡
	春よ来い	弘田龍太郎
	《かわさき》(郡上踊から)	岐阜県民謡
	《さくら》変奏曲	日本古謡
	《一段》(《三段の調》から)	久本玄智
	夕焼小焼	草川 信
	朧月夜	岡野貞一
	紅葉	岡野貞一
	故郷	岡野貞一
	京畿道アリラン	朝鮮半島民謡
	美しいエンメンタール	スイス民謡
	Twist And Shout	B. ラッセル、P. メドレー
	真赤な太陽	原 信夫
	クリスマス・イブ	山下達郎
	荒野の果てに	フランスのキャロル

	曲 名	作 曲
歌 唱	言わない	佐井孝彰
	早春	信長貴富
	懐かしきケンタッキーの我が家 (My Old Kentucky Home, Good Night)	S.C. フォスター
	いつか、海へ	三宅悠太
鑑 賞	オペラ『カルメン』	G. ビゼー
	日本 雅楽 舞楽《陵王》	作者不詳
	能《道成寺》	作者不詳
	箏曲《みだれ(乱輪舌)》	(伝) 八橋検校
	尺八曲 琴古流古典本曲《鹿の遠音》	作曲者不詳
	アリラン (朝鮮半島)	
	オルティンドー (モンゴル)	
	女声合唱 (ブルガリア)	
	アーヴァーズ (イラン)	
	ヨーデル (スイス)	
	ゴスペル (アメリカ)	
	アルファー (中国)	
	サウン・ガウ (ミャンマー)	
	シタール (インド)	
	ツィター (オーストリア)	
	バラライカ (ロシア)	
	ウード (イラクなど)	
	ズルナ (トルコ)	
	バグパイプ (イギリスなど)	
	ケーナ (ラオスなど)	
	ケーナ (ペルーなど)	
	ガムラン (インドネシア)	
	トーキング・ドラム (西アフリカ帯)	
	バラフォン (西アフリカ帯)	
	スティールパン (トリニダード・トバゴ)	
	《枯葉》	J. コズマ
	組曲《動物の謝肉祭》	C. サン＝サーンス
	交響曲第9番 二短調 op.125《合唱付き》から第4楽章	L.v. ベートーヴェン
	交響詩《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら》	R. シュトラウス
	《平均律クラヴィア曲集》第1巻から第1番 八長調 BWV846《プレリュードとフーガ》	J.S. バッハ
	ピアノ・ソナタ第8番 イ短調 K.310	W.A. モーツァルト
	ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57《熱情》	L.v. ベートーヴェン
	《練習曲集》op.10から第5番 変ト長調《黒鍵》	F. ショパン
	《バガニニ二大練習曲》から第3曲《ラ・カンパネッラ》	F. リスト
	《幻想的小品集》op.3から第2曲《前奏曲》	S. ラフマニノフ
	プリペアド・ピアノのための《ソナタとインターリュード》	J. ケージ
	映画『ハリー・ポッターと賢者の石』	J. ウィリアムズ
	交響曲第25番 ト短調 K.183から第1楽章	W.A. モーツァルト
	ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K.219《トルコ風》から第3楽章	W.A. モーツァルト
	セレナード 変ロ長調 K.361《グラン・パルティータ》から第3楽章	W.A. モーツァルト
	オペラ《フィガロの結婚》K.492 第2幕から三重唱《スザンナ、出て来なさい》	W.A. モーツァルト

●令和4年度版から削除した曲

【歌唱・器楽】 Lemon／負けないで／星に願いを／Heidenröslein (ヴェルナー)／Ich liebe dich(君を愛す)／ザナルカンドにて(『ファイナルファンタジーX』から)／見上げてごらん夜の星を／Memory／虫のこえ／さくら／安波節／花笠音頭／《寄せの合方》(長唄《勧進帳》から)／《初段》(箏曲《六段の調》から)／タイムマシンにおねがい／サザエさん／東京ブギウギ／冬景色／ぼくは ぼく／おんがく

【鑑賞】 先住民たちの合唱(台湾)／イヌイットの喉歌(カナダ)／チャランゴ(ボリビア)／ナイ(ルーマニア)／パレエ音楽《火の鳥》組曲(1919年版)／バラード第1番 二短調 op.23 (F. ショパン)／《前奏曲集》第1巻から第10曲《沈める寺》／ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 op.83 (S. プロコフィエフ)／トッカータとフーガ 二短調 BWV565／《ブランデンブルク協奏曲》第2番 へ長調 BWV1047から第1楽章／カンタータ第147番《心と口と行いと生きざまと》BWV147からコラール《主よ、人の望みの喜びよ》／《マタイ受難曲》BWV244から第1部第1曲 導入の合唱《来たれ、娘たちよ、われとともに嘆け》

検討の観点別に見た特色

	観 点	教科書の特色
範 囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程 度	●教材は生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内 容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●(共通事項)は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。 ●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●表現及び鑑賞に共通する指導内容として(共通事項)に示された「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を織りなすさまざまな要素」が掲載されている。 ●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、基礎的・基本的な内容を学習することのできる教材や説明が適切に配列されている。 ●「思考力、判断力、表現力等」の育成を図ることができるよう、思考した内容の記述例や会話を参考に曲を分析する教材などが掲載されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方もアイデアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて弾力的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、我が国や郷土の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう4種類の和楽器が取り上げられている。歌唱の活動においては、能の謡の一部を体験することのできる教材が掲載されている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構 成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性に配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られており、複数の領域や分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。 ●学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られているとともに、ページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりすることができるよう随所に工夫がなされている。 ●豊富な分量の教材が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人 権	●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることについても配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権について「音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人」が掲載されており、生徒に分かりやすく説明されている。
体 裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷、製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に対して十分配慮されている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●ユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。
総 合 所 見	学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。確実に学習を進められるよう、各教材には学習内容や活動のポイントが示され、生徒の主体的な学習活動を促すとともに、指導者が歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」を使って、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。また、各楽器の奏法や外国の歌曲の原語歌詞の発音などを視聴することができる二次元コードコンテンツを利用して、自宅でも予習や復習を効果的に行うことができる。	

別売 鑑賞参考教材ソフトについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートする鑑賞参考教材ソフトが、Blu-rayで登場！
迫力ある演奏のみならず、各国の風景や美しい民族衣装などの文化にも触れることができます。DVDをはるかに超える高解像度と、最新技術のマスタリングによる臨場感あふれるサウンドで楽しめます。



世界の民族音楽

- Blu-ray 1 枚／収録時間 202 分 ● 価格 19,800 円 (本体 18,000 円 + 税 10%)
- 全ての映像について、各分野の研究者によるライナーノーツ付き

この他、音楽鑑賞 DVD では「日本の伝統芸能 編」と「民族編」を販売しています。どちらも鑑賞や音楽史の授業に最適です。



日本の伝統芸能 編

- DVD 1 枚／収録時間 126 分
- 価格 19,800 円 (本体 18,000 円 + 税 10%)
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎の成り立ちと魅力を紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き



民族編

- DVD 1 枚／収録時間 148 分
- 価格 19,800 円 (本体 18,000 円 + 税 10%)
- 38 カ国、全 59 曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

第1表

高等学校用教科書需要票

見 本

発行者	番 号	27	略 称	教芸	需 要 数	生徒用	150	冊		
		教科書	記 号	音I		番 号	027-901	教員用	2	冊
			書 名	MOUSA 1					計	152

所在地
学校名
電 話

(全日制・定時制・通信制)

デザイン：松倉 浩・鈴木友佳

K 教育芸術社

- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14 TEL.03-3957-1175 (代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL.052-678-3151 (代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL.06-6943-7245 (代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL.083-256-4747 (代)

ホームページ <https://www.kyogei.co.jp/>

※環境に配慮した紙を使用しています。